

ロックアシスタⅡ LA-RX

取扱説明書 保証書付き

このたびは、ハビナス ロックアシスタⅡ LA-RXをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前に、この説明書をよくお読みいただき、内容をよく理解された上で正しくお使いいただきますようお願いいたします。なお、取扱説明書は、必ず大切に保管してください。



目 次

1. 安全にお使いいただくために	2	6. お手入れの方法	14
2. おもな機能と特長	5	7. 保管方法	15
3. 各部の名称	6	8. 仕様	15
4. 使用方法	7	9. アフターサービス	15
5. 使用前の点検	13	10. 保証について	16

1. 安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用者および他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を危害や損害の大きさと危険の程度によって「警告」「注意」「禁止」「指示」に区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みになり、必ず守ってください。

	警告		注意		禁止	製品使用上、禁止とする行為を示します。	
誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。		誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり物的損害が想定される内容を示します。				指示	製品使用上、必ず行っていたきたい行為を示します。

次の点は安全にお使いいただくために必ずお守りください。

操作・走行上の注意

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品は1人用に設計されています。2人以上で使用しないでください。 ※最大使用者体重（積載物含む）は100kgです。 ●スピードを出さないでください。スピードが出ている際の急カーブ・急ブレーキは、転倒のおそれがあり大変危険です。 ●走行中に駐車ブレーキを使用しないでください。転倒のおそれがあります。 ●バックしながら、急停止しないでください。転倒のおそれがあります。 ●座面以外の部分に腰をかけないでください。 ●走行中は、身体を乗り出さないでください。走行の安定を損ない危険です。転倒のおそれがあります。 ●アームサポートやフットサポートなどを持って車いすを持ち上げないでください。 ケガや破損のおそれがあります。 ●車輪に身体の一部や物を差し込まないでください。手や指を挟み、ケガをするおそれがあります。 ●階段、エスカレーター、段差のあるところや、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では走行しないでください。転倒、ケガ、破損のおそれがあります。 ●凹凸のある場所では、前かがみ姿勢で使用しないでください。 バランスを崩し転倒するおそれがあります。 ●台車の代わりにするなど、使用者の移動目的以外での使用はしないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ●ご使用中に、異常を感じたらすぐに使用を中止してください。 ●急な下り坂で介助する際は、後ろ向きにゆっくり下りてください。 ●坂道の走行には介助者を伴い走行してください。 ●走行中は、足を必ずフットサポートの上に乗せ走行してください。 ●踏み切りを横断する際の溝による落輪、歩道の段差での転落には十分注意してください。 ●移動中に使用者のつま先が障害物に当たらないように、確認して走行してください。

操作・走行上の注意

⚠ 注意



禁止

- 車いすを火気に近づけないでください。加熱によるヤケド・火災の原因になります。
- タイヤを握って後車輪を操作しないでください。駐車ブレーキに指を挟み危険です。
- 介助者は、車いすに乗って介助しないでください。
- 車いすが不安定になるため、背面ポケット、手押しハンドルなどに重いものを引っかけないでください。
- 車いすを開く際、手や指を挟むおそれがあるため、座面シート端のパイプを握らないでください。
- アームサポートを跳ね上げた状態で、アームサポートに力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- スピードが出ている状態で、素手でハンドリムを持って減速しないでください。摩擦で手にケガをするおそれがあります。介助ブレーキを使って減速してください。
- 使用者の体格や座位姿勢によってサイドガードが外側に広がってしまう場合は使用しないでください。ケガや破損につながります。
- 駐車ブレーキレバーは必ず手で操作してください。また、体重をかけたり、作動方向（前後方向）以外に力を加えないでください。破損、ケガへつながります。



指示

- 回転している後車輪に指を挟まないように注意してください。
- 夜間や雨天時には、通行者や自動車などから発見しにくくなりますので十分注意してください。
- 介助者は、使用者の身体の一部や衣服がタイヤ、スポーク、前輪キャスターおよび地面・建物、通行者に触れたり挟まったりしないよう、車いすに安全に座れているかを確認してから操作してください。
- フット・レッグサポートを取り付けた際は、確実に固定されていることを確認してください。
- フット・レッグサポートを開いたり、取り外しを行う際は、手や指を挟まないように注意してください。
- フットサポートが固定されているのを確認してご使用ください。

停止時の注意

⚠ 警告

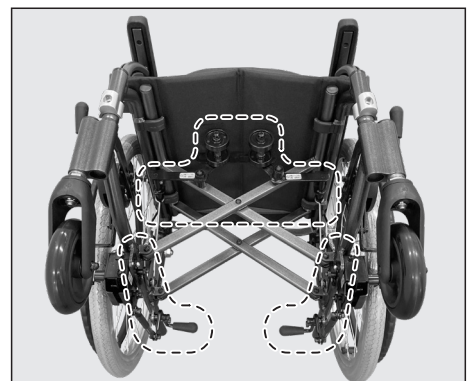


指示

- 停止時は、必ず両後車輪に駐車ブレーキをかけてください。
タイヤロックは、駐車ブレーキをかけ忘れたときの補助ブレーキです。
- 道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。
- 車いすをたたんだ状態で横向きにして、上に物を載せないでください。フレームが曲がり、故障の原因になります。
- 使用者の症状や状態で、座面中央部に着座しないことにより、タイヤロックが十分に解除せず、走行に支障をきたすことがあります。その場合、使用を中止いただくか、あるいは着座位置が中央部になるように調整いただき、タイヤロックが解除されることを確認してください。
- 立ち上がる際に完全に立ち上がりきれていない場合、タイヤロックが十分に作動しない場合があります。その場合、完全に身体が座面から離れていることを確認してください。
- 車載用の固定フックをタイヤロックユニットおよび座面下ユニットにかけないでください。無理な負担が加わり、破損につながるおそれがあります。



タイヤロックユニット



座面下ユニット

移乗時の注意

警告



禁止

- 移乗する際は、駐車ブレーキレバーに体重をかけないでください。ケガや破損につながります。
- フットサポートの上に乗って、車いすに乗り込んだり、立ち上がらないでください。ケガや破損につながります。
- 車いすのシートの上で立ち上がらないでください。ケガや破損につながります。



指示

- 移乗する際は、必ず両後車輪に駐車ブレーキをかけてください。
- 移乗する際は、フットサポートを跳ね上げてから行ってください。また、跳ね上げたフットサポートに足が当たらないよう注意してください。
- 移乗や駐車は平坦な場所で行ってください。

段差乗り越え時の注意

注意



禁止

- 無理な力による段差乗り越えはフレームの破損につながりますのでおやめください。
- スピードをつけて、段差を乗り越えようとししないでください。使用者が転落して、事故の原因になります。また、パンクなどの故障や破損の原因となります。
- 使用者を乗せたまま車いすを持ち上げないでください。フレームの破損やケガのおそれがあります。



指示

- ティッピングレバーに足を当て、前方に押し出しながら、手押しハンドルを手前に引くようにして、前輪キャスターを段差の上に上げてください。

保守・点検の注意

警告



禁止

- 改造・分解はしないでください。強度や耐久性が低下して危険です。
- 故障、異常があるときは、事故や転倒のおそれがあるため、使用しないでください。
- 本体の切断・穴あけ等の改造、組み換えを伴う加工は行わないでください。強度低下につながり危険です。



指示

- 使用する前に後車輪、前輪キャスター、駐車ブレーキなどのねじを点検し、緩んでいるときは増し締めをしてください。※**タイヤロックユニット、座面下ユニットは、調整・分解しないでください。**
- 車いすに水がかかった場合は、ただちに拭き取ってください。
- 各部を調整するときは、平坦な場所で行ってください。
- 車いすを自動車に載せたり、降ろす際は、大きな衝撃を与えないよう、ゆっくり降ろしてください。車いすの破損や故障の原因になります。

シート・オプションクッション使用時の注意

警告



禁止

- 座面クッションへ一点に集中するような荷重をかけないでください。製品の破損につながるおそれがあります。
- 高温多湿や長時間直射日光が当たる場所でのご使用は避けてください。製品の劣化につながるおそれがあります。
- ストーブなどの火気に近づけたり、高温のものに近づけないでください。火災の原因になります。
- 圧がかかるような状態での保管はおやめください。ヘタリや破損の原因になります。
- 乾燥機は使用しないでください。
- 座面クッションは必ず1枚でご使用ください。市販品のクッションを重ねるなどして厚くなるとタイヤロックが機能しない可能性があります。



指示

- 車いす本体への取り付け方法を確認の上、ご使用ください。
- ご使用中に異常を感じたらすぐに使用を中止してください。
- 製品の部分的な汚れは中性洗剤で拭き取ってください。

2. おもな機能と特長

■シートから立ち上がると自動的にタイヤロックが働き、車いすのブレーキがかかります。

※ タイヤロックは、万が一駐車ブレーキをかけ忘れてそのまま立ち上がった場合に、車いすが前後方向へ動いてしまうことを防止する補助機能です。

※ 立ち上がる際に後方に力が加えられなかった場合には、前進方向にタイヤロックが効かないことがあります。故障ではありません。

● 車いすのみ（使用者が乗っていない状態）で移動するときは、後方のタイヤロック解除レバーを踏み込むことで、タイヤロックが解除されます。シート中央部に座るとタイヤロックがリセットされます。

● 使用者の適用体重は35kg以上です。

■車いすへの移乗がスムーズにできます。

●ウイングアップ式アームサポート

アームサポートを跳ね上げることにより、スムーズに移乗ができます。

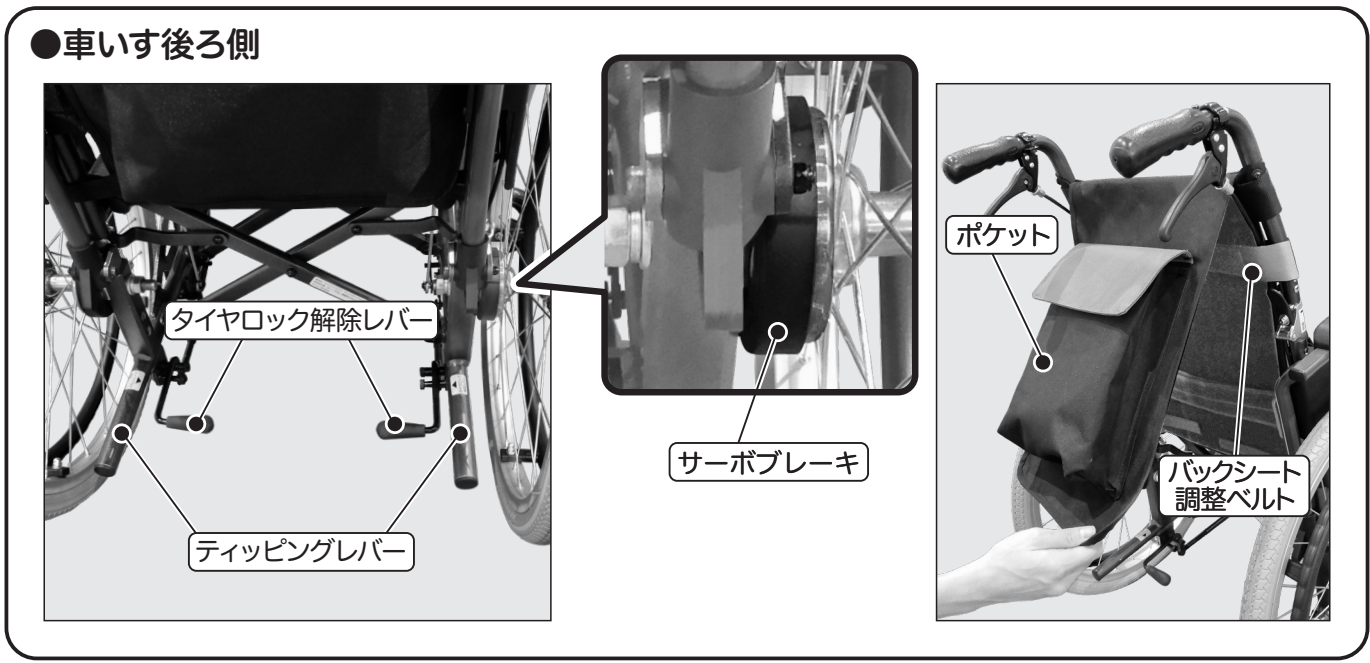
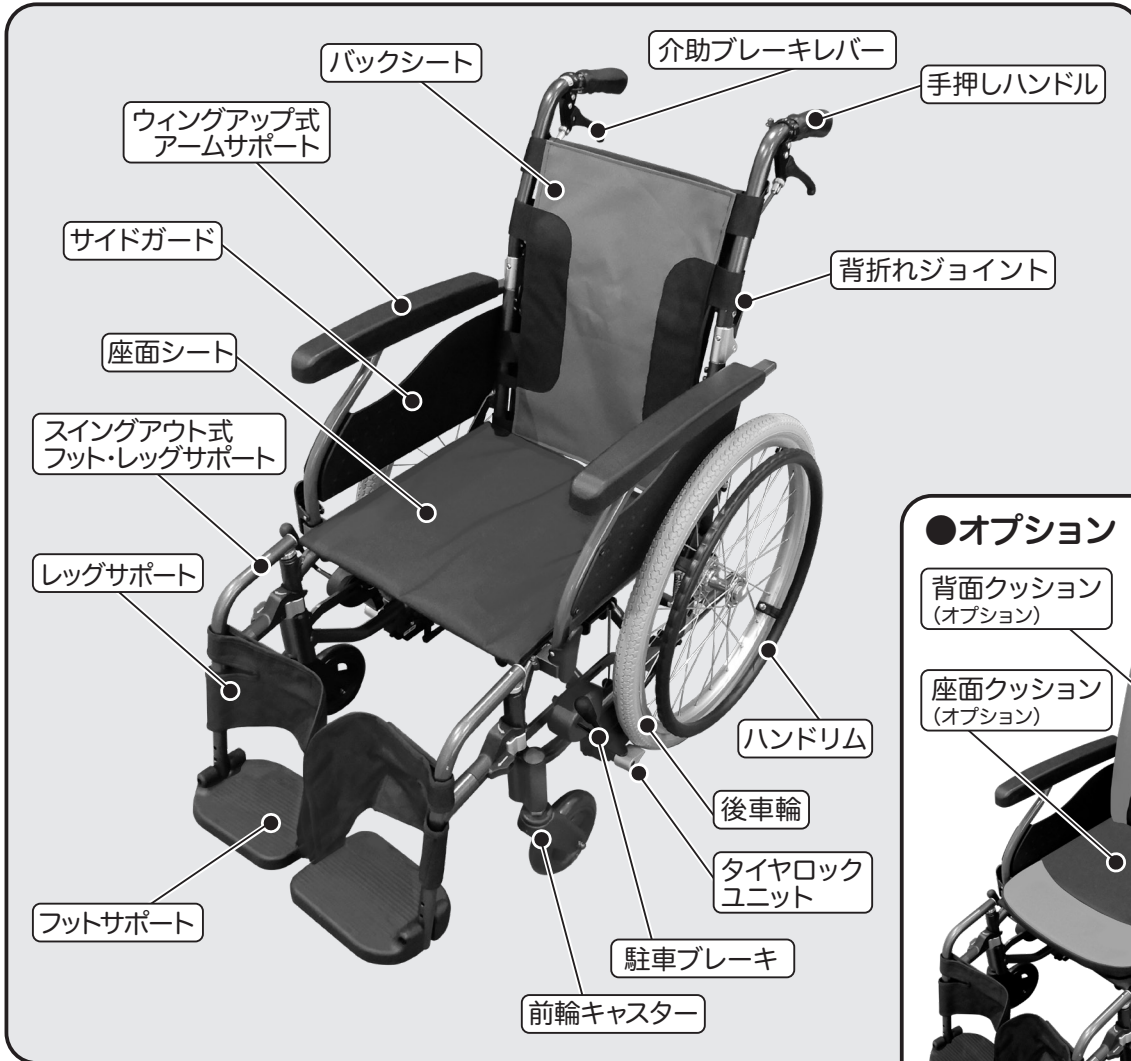
●スイングアウト式フット・レッグサポート

フット・レッグサポートが開くことにより、ベッド・椅子などに近づくことができます。またフット・レッグサポートは取り外すことができます。

■バックシートの張り調整ができます。

● 使用者の姿勢に合わせて調整できます。

3. 各部の名称



4. 使用方法

以下①～③(オプション付きの場合は④、⑤)があることをご確認ください。

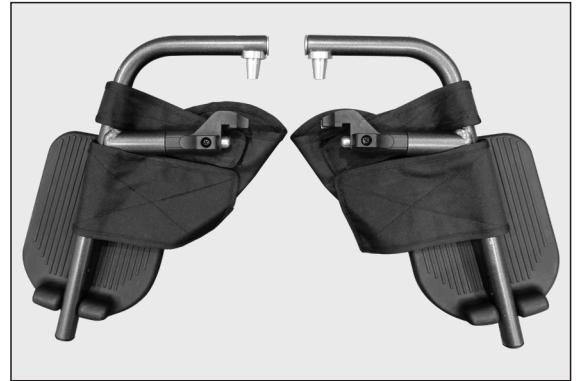
①製品本体



②取扱説明書(本書)



③スイングアウト式 フット・レッグサポート



④座面クッション(オプション)



⑤背面クッション(オプション)



1) 手押しハンドルの起こし方

車いすのシートを広げる前に、手押しハンドルを起こします。

手押しハンドルは最後まで起こすとロックされますので、必ずロックされていることを確認してください。

ワイヤーやシートなどを背折れジョイントに挟み込まないように注意してください。



- ⊘ 手押しハンドルを起こす・たたむ操作は、使用者が乗った状態では絶対に行わないでください。背折れジョイントで身体または身体の一部や、衣類を挟んでケガをしたり、衣類が破損するおそれがあります。

2) 手押しハンドルのたたみ方


手押しハンドルを握り、一方の手で背折れジョイントのレバーを後方へ引きながら手押しハンドルを倒します。

3) シートの開き方

- ①両輪の駐車ブレーキをかけてください。 ※P.11 13) 参照
- ②手押しハンドルを軽く持ち、後輪を浮かせながら軽く左右に開きます。
- ③片側の車輪を浮かせながら、浮いていない側のシート端のパイプ部分を上から手で押します。



 **注意**


 NG写真のように座面シート端のパイプを握らないでください。手が挟まれ危険です。

4) バックシート調整ベルトの調整方法

- ①面ファスナーを全て剥がします。
- ②面ファスナーの貼り位置を調整し、面ファスナーを貼り合わせます。
- ③背面ポケット内側の面ファスナーで貼り合わせます。



 **注意**

 人が乗っている状態でバックシートの調整を行わないでください。面ファスナーが外れ、後方に転落するおそれがあります。面ファスナーが使用者に当たらないことを確認してください。

5) 座面クッション(オプション)の装着

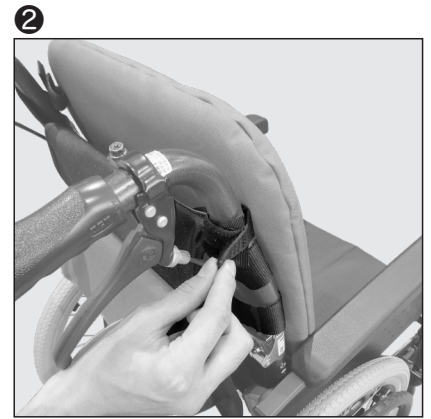
- ①図のように座面クッションの向きを合わせ、座面に設置します。



6) 背面クッション

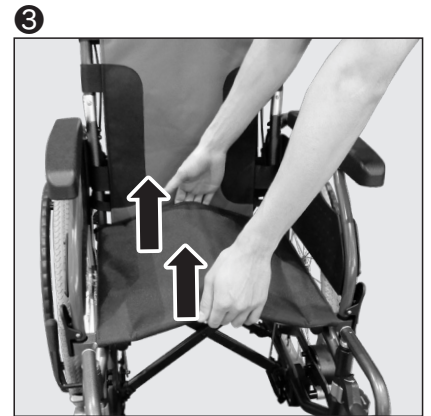
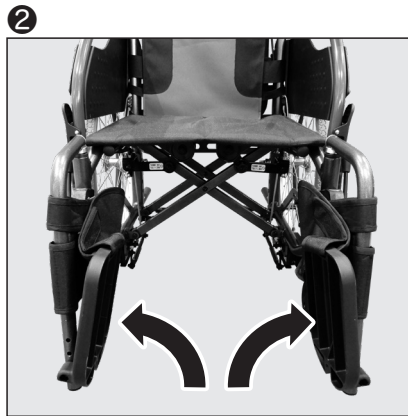
(オプション) の装着

- ① 背面クッションを図のように設置します。
- ② 上部にある面ファスナーでパイプに固定させます。



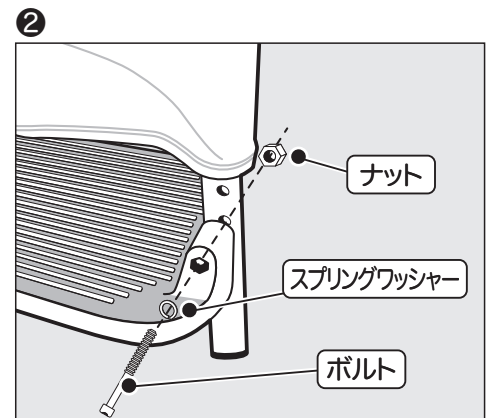
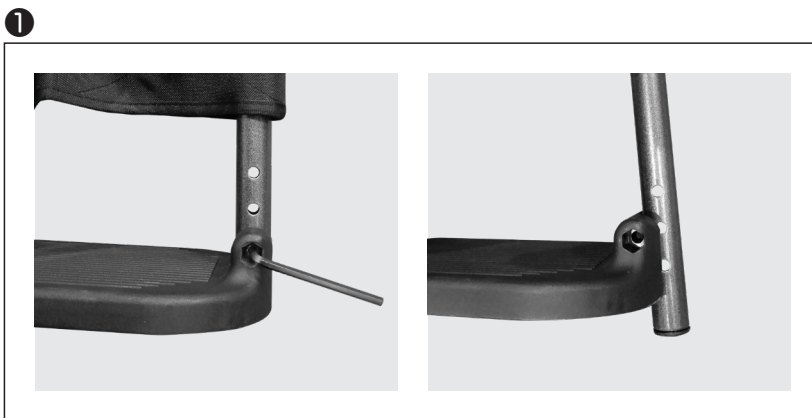
7) シートのたたみ方

- ① 両輪の駐車ブレーキをかけてください。
- ② 両側のフットサポートを跳ね上げます。
- ③ 座面シートの前方と後方の中央部を同時に持ち上げてたたみます。



8) フットサポートの高さ調節

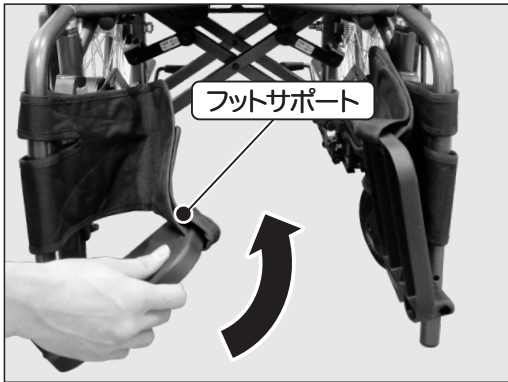
- ① 下記矢印にある六角穴付きボルトを六角レンチ(5mm)で外し、フットサポートを上下させて、使用者の足位置に合わせます。
- ② 位置が決まったら、六角穴付きボルトを締め込み固定します。
ボルトの調整はフットサポートを跳ね上げた際に、自重で下がらない程度を目安としてください。



- ❗ ナットは確実に締め付けてください。
フットサポート高さは床から 5cm 以上あげてください。走行中に段差に接触し転倒するおそれがあります。

9) フットサポートの取り扱い方法

フットサポートは、手動で簡単に外側に跳ね上げることができます。
 移乗時や介助の妨げになるときは跳ね上げてください。



⚠ 注意

⊘ フットサポートの上に乗って、車いすに乗り込んだり、立ち上がらないでください。
 部品の破損や使用者のケガにつながります。

10) ウィングアップ式アームサポートの取り扱い方法

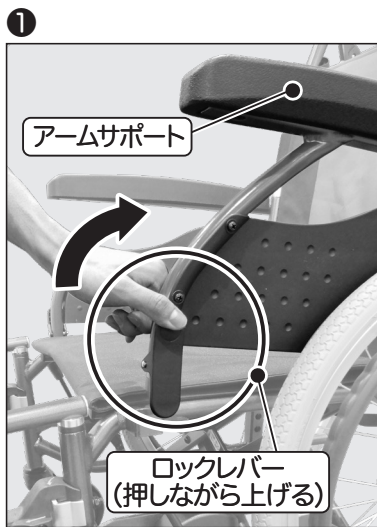
アームサポートを跳ね上げることで、横からの移乗が容易に行えます。

① アームサポートの跳ね上げ

ロックレバーを押しながらアームサポートを跳ね上げます。

② アームサポートのロック

アームサポートを下ろし、ロックレバーが引っかかり、しっかりと固定されるまで下ろします。



⚠ 注意

- ❗ アームサポートを下ろす際は、身体や衣服を挟まないように注意してください。
- ❗ アームサポートを取り付けた後は、必ず固定されたことを確認してください。
- ⊘ アームサポートを持って車いすを持ち上げないでください。

11) 段差乗り越えの方法

足元のティッピングレバーを踏み込み、前方に押し出しながら、手押しハンドルを手前に引くようにして、前輪キャスターを段の上に上げてください。



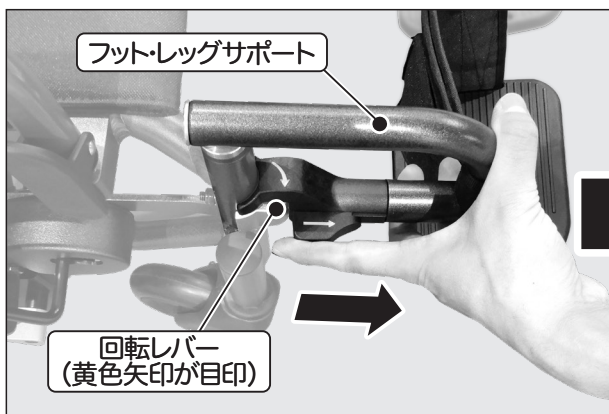
⚠ 注意

- ❗ 前輪キャスターを浮かせる操作をする際は、必ずティッピングレバーを使用してください。
- ❗ フットサポートの先端を段差、障害物に当たらないよう注意してください。

12) スイングアウト式フット・レッグサポートの取り扱い方法

フット・レッグサポートを開く、または取り外すことでベッド・椅子などに近づくことができます。

① 矢印方向に回転レバーを引きながら、フット・レッグサポートを外側に回転させ開きます。



② 取り外しは、フット・レッグサポートを外側に回転させた状態で上方に引き上げます。



③ 取り付けは、逆の手順で、フット・レッグサポートを受けパイプにはめ込み、内側に回転させます。

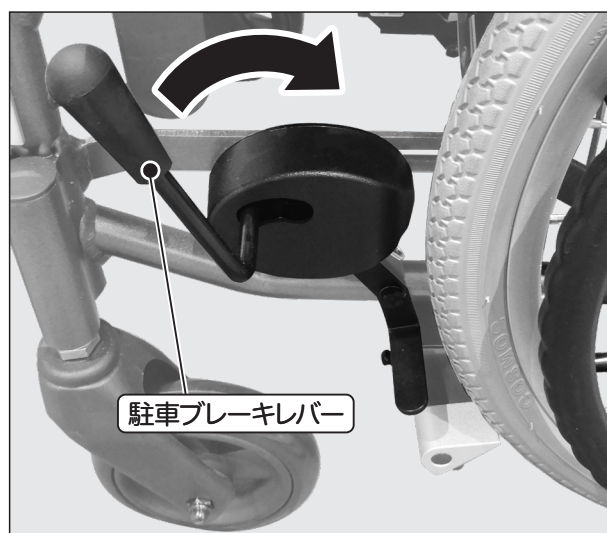


注意

- ❗ フット・レッグサポートの回転、取り外し、取り付けは、必ず両後車輪の駐車ブレーキをかけた状態で行ってください。
- ❗ フット・レッグサポートを取り付けた後は、必ず固定されたことを確認してください。

13) 駐車ブレーキのかけ方、解除の方法

駐車ブレーキレバーを後車輪側の方向に引くと駐車ブレーキがかかり、戻すと解除されます。



注意

- ❗ 停止時は、必ず両後車輪に駐車ブレーキをかけてください。

14) タイヤロックの取り扱い

使用者が車いすから立ち上がると、タイヤロックが働き、後車輪にブレーキがかかります。



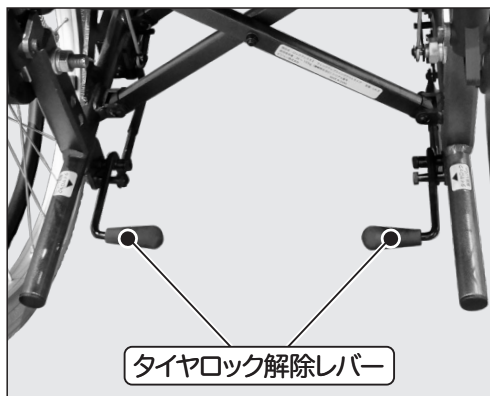
- ❌ 駐車ブレーキにつかまって立ち上がらないでください。
- ❗ 移乗や駐車の際は、水平で平坦な場所で行ってください。



- ❗ シート中央部にきちんと体重がかかるように座ってください。本製品はシート中央部にて着座を感知することで機能を果たします。
- ❗ 停止時は、駐車ブレーキを必ずかけてください。タイヤロックは駐車ブレーキをかけ忘れたときの補助ブレーキです。
- ❗ 後車輪の空気圧が低すぎると、駐車ブレーキ・タイヤロックの効きが悪くなります。目安として、タイヤを手で押してやや硬い程度に空気を入れてください。業務用エアーコンプレッサー等で入れすぎますとタイヤが外れるなど危険です。
※適正空気圧 300kPa (3.0kgf/cm²)

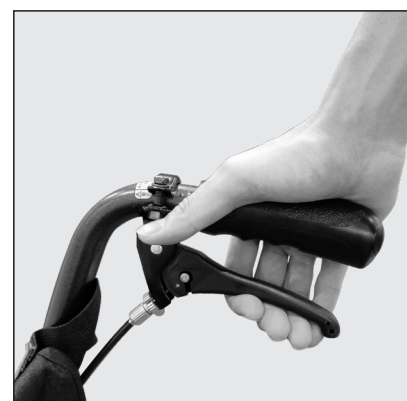
15) タイヤロックの解除方法

シート中央部に座ると自動的にタイヤロックが解除され、タイヤロック解除レバーが跳ね上がります。車いすのみ（使用者が乗っていない状態）で移動するときは、後方左右のタイヤロック解除レバーを踏んでください。タイヤロックが解除され、車いすを移動することができます。



16) 介助ブレーキの取り扱い方法

介助ブレーキが必要な場合には左右均等な力で握ってください。レバーを放すと解除されます。



- ❗ 介助ブレーキレバーを操作し、ブレーキがかかることを確認してください。
- ❗ 片方のブレーキのみ強く作用させると車いすが回転するなど危険なため、介助ブレーキは、左右均等な力で握ってください。
- ❗ ブレーキワイヤーは、安全のため定期的に交換してください。

5. 使用前の点検

使用前に以下の点検を必ず行ってください。

点検を行い作動不良や今までと違う異音やガタつきがあった際には、ご使用を中止し、お買い上げの販売店またはピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

①後車輪の空気圧の確認

駐車ブレーキの性能(走行安定性、パンク防止、タイヤロックの効果)を維持するため、空気圧の確認を行ってください。 適正空気圧 300kPa (3.0kgf/cm²)

②駐車ブレーキの作動確認

駐車ブレーキレバーを操作し、駐車ブレーキがかかることを確認してください。



❗ 後車輪の空気圧が低いと駐車ブレーキがかからない、あるいはかかりが悪くなる場合があります。空気圧はこまめに点検・調整してください。

③タイヤロックの作動確認

- 1) シートに使用者が乗っていない状態で、車いすを後方に押してタイヤロックを作動させ、タイヤが前後に回転しないことを確認してください。
- 2) 使用者がシートに座ったときに、タイヤロックが解除される(左右のタイヤロック解除レバーが上がっている)ことを確認してください。
- 3) 使用者がシートから立ち上がったときにタイヤロックが働き、車いすが前後に動かないことを確認してください。
- 4) タイヤロック解除レバーを踏んだとき、タイヤロックが解除されることを確認してください。
また、タイヤがロックされた状態でシートに座ったとき、タイヤロック解除レバーが跳ね上がり、タイヤロックが解除されていることを確認してください。

④可動部分の確認

前輪キャスター、後車輪、ブレーキ、本体フレームなどのガタつき、ねじの緩みのないことを確認してください。ねじが緩んでいると、ねじが脱落し、事故につながるおそれがあります。



⊘ タイヤロックユニット、座面下ユニットは、調整・分解しないでください。

⑤消耗品の確認

それぞれの部品が交換時期になった際は、早めに交換してください。新しい部品に交換する際は、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

消耗品・交換部品

部 品 名	交 換 時 期
後 車 輪	タイヤ表面の溝が無くなったとき。表面がひび割れたとき。
介 助 ブ レ ー キ ワ イ ヤ ー	介助ブレーキの効きが悪くなったとき。
前 輪 キ ャ ス タ ー	しっかり取り付けていてもガタガタするとき。表面がひび割れたとき。
座 面 シ ー ト	ほつれ、切れ目が発生したとき。ひどく汚れたとき。
バ ッ ク シ ー ト	
背面クッション(オプション)	
座面クッション(オプション)	



❗ 交換時期を過ぎての使用は、転落、転倒、衝突などの事故につながるおそれがあります。それぞれの部品が交換時期になったときは、お早めに交換してください。

6. お手入れの方法

①本体フレームのお手入れ

- 1) フレームの汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。
拭き取った後は乾いた布で水分を取り除いてください。
- 2) 水などがかかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。



- ⊘ ●車いす本体の水洗いはおやめください。動作部の油が流れ落ち、動作に支障をきたすおそれがあります。
- 熱湯やオゾンで洗淨しないでください。製品を傷めるおそれがあります。
- シンナーやベンジンなどの揮発性溶剤は使用しないでください。
製品を傷めるおそれがあります。
- たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
製品を傷めるおそれがあります。

②樹脂(プラスチック)部のお手入れ

- 1) 汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。
- 2) 水などがかかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。

③走行性の確認

まっすぐ進まない場合、どこかが歪んでいる可能性があります。お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

④シートの確認

車いすは湿気に弱いので、雨にぬれる場所などに放置したり、長時間続けてご使用になるとシートに破損、たるみが発生します。適度な座り心地が保ちにくくなりますので、たるみ、破損が著しい場合は交換をお勧めします。

⑤タイヤロックの確認

シートに座ったとき、タイヤロック解除レバーが跳ね上がらなくなった場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室にお問い合わせください。

⑥各部ねじの確認

後車輪、前輪キャスター、駐車ブレーキなどのねじを点検し、緩んでいるときは増し締めをしてください。

⑦クッション(オプション)

- 1) 背面クッション、座面クッションは洗濯をしないでください。
- 2) 汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。



- ⊘ 樹脂部、シート、クッション(オプション)を消毒用アルコール、有機溶剤、塩素系洗剤などで拭くと変色、劣化のおそれがありますので、おやめください。
- ⊘ タイヤロックユニット、座面下ユニットは、調整・分解しないでください。

7. 保管方法

- ① 収納スペースが少ない場合は、車いすをたたんで保管してください。
- ② 製品の劣化を避けるため、直射日光が当たる場所、雨や水のかかる場所、ホコリの多い場所を避けた室内に保管してください。
- ③ 錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気の多い場所や室温が著しく高い場所（50℃以上）には保管しないでください。

8. 仕様

項 目		LA-RX
材 質	フ レ ー ム	アルミ
	シ ー ト	ウレタンフォーム、ポリエステル
寸 法	全 長	970mm
	全 幅	580mm
	全 高	880mm
	座 面 幅	400mm
	座 面 奥 行	400mm
	前 座 高	400(クッション込み430)mm
	後 座 高	375(クッション込み405)mm
	アームサポート高	245(クッション込み215)mm
後車輪×前輪キャスター	20 × 5インチ	
最 大 許 容 体 重	100kg	
重 量	18(クッション込み18.7)kg	

項 目		LAクッション(座面クッション、背面クッション)
材 質	クッション(表地)	ポリエステル
	クッション(中材)	ポリウレタン
	座面クッション(裏)	PVC(滑り止め)

※製品は、品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。

9. アフターサービス

この製品についてのお問い合わせ

ご意見、ご質問は、お買い上げの販売店またはピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

修理を依頼されるには

お買い上げの販売店に、この製品の品名、製造番号(シリアルNo.)をご連絡の上、故障状況をくわしくお申しつけください。転居、贈答品などでお買い上げの販売店に修理を依頼することができない場合は、ピジョンタヒラ(株)またはピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

製品の保証について

- 1) 保証内容につきましては、次のページの保証書をご覧ください。
- 2) 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

ピジョンタヒラ株式会社

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-4 ピジョンビル
ピジョンタヒラ(代表)

TEL 03-3661-4371

ピジョンタヒラホームページは <https://www.pigeontahira.co.jp>

ピジョン株式会社

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4
ピジョンお客様相談室

TEL 0120-741-887

受付時間: 9時~17時(土・日・祝日を除く)
ピジョンホームページは <https://pigeon.info/>

保証について

保証書は日本国内においてのみ有効です。

この保証書は明示した期間、条件の下において無償での対応をお約束するものです。

従いまして、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

ご使用中、万が一故障が発生した場合は、お買い上げの販売店またはピジョンタヒラ（株）、ピジョン（株）

お客様相談室へ現品に保証書をそえて、修理をご依頼ください。

保証期間経過後の故障などの対応等につきまして、お分かりにならない場合は、お買い上げの販売店または

ピジョンタヒラ（株）、ピジョン（株）お客様相談室までお問合せください。

保証書は再発行いたしません。大切に保管してください。

保証書		
製品名	シリアル番号	保証期間
ロックアシスタII LA-RX		お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お客様	お名前	お買い上げ日 年 月
	ご住所 〒	TEL
販売店	店名	TEL
	住所	

*太枠内の記入なき場合は無効となりますので、必ずご記入ください。

*ただし、販売店の記載については、お買い上げ時のレシートまたは販売証明書の添付でも有効です。

保証規定

- 保証期間は「お買い上げ日より1年間」です。
- 製造終了から3年経過した製品や、修理に必要な部品の在庫が無くなった場合、既に修理対応ができない製品については、修理をお受けできない場合がございます。
- 保証期間内に取扱説明書に基づく正常な使用方法において、万が一故障した場合には無償修理を行います。お客様の誤使用などによる故障においては有償修理となります。また依頼時点の状況により保証期間内であっても修理自体ができない場合もありますので予めご了承ください。
- 保証期間内であっても下記の項目に該当するものは有償修理となります。
 - 保証書の提示のない場合(製品に同梱されている取扱説明書にあります)
 - 部品の自然劣化および自然消耗による変退色
 - 可動部、消耗部品(タイヤ、キャスター等)の消耗、故障、損傷等
 - 縫製品の色あせ・やぶれ・すり切れ・ほつれ、その他の損傷および破損
 - お客様の誤使用・保管不備・手入れ不足・改造や不当な修理による故障、損傷および破損
 - 部品の紛失
 - 火災・地震・水害・落雷等、天災地変などの不可抗力による故障、損傷および破損
 - 事故や落下などにより強い衝撃を受けたことによる故障、損傷および破損
 - 故障の原因が本製品以外に起因する場合
 - 故障ではない箇所をお客様のご依頼により交換する場合
 - 保証書の必要記入項目に不備がある場合、字句を書き換えられた場合
 - 有償修理の場合に要する発送運賃、消耗品の代金はお客様負担となります。
- 製品による二次的な損傷、損害などは本保証の対象外となります。
- 本保証は、日本国内で購入し使用した場合においてのみ有効です。海外への修理サービスは、いたしかねます。
- 本保証は、保証書に記載の販売店からお買い上げいただきましたお客様(贈答品については、当該お客様より贈答を受けた方)のみ有効です。
ネットオークション、フリーマーケット、リサイクルショップなどにより、第三者から有償無償を問わず譲渡を受けた製品につきましては、本保証は適用されません。 2022年8月現在

お問合せ先 **ピジョンタヒラ株式会社**

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-4 ピジョンビル

ピジョンタヒラ
(代表) TEL **03-3661-4371**

ピジョンタヒラホームページは
<https://www.pigeontahira.co.jp>



ピジョン株式会社

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4

ピジョンホームページ
お客様サポート <https://support.pigeon.co.jp/>

(お客様相談室) TEL **0120-741-887**

受付時間 9時～17時(土・日・祝日を除く)

